

がん化学療法指示書

登録番号 246

作成日 2019/9/4

レジメン名	CE+Atezolizumab療法
診療科・対象疾患	(呼)進展型小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
テセントリク	アテゾリズマブ	1200mg/body	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5	Day1
エトボシド	エトボシド	100mg/m ²	Day1, 2, 3

治療内容	注	投与順序	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
								day1	...	day2	...	day3	...	day21		
治療内容	注	Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●								
		Rp2		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●								
				デキササート(6.6mg)	1瓶											
				デキササート(1.65mg)	2瓶											
		Rp3		生理食塩液	250ml	60分※1	点滴静注メイン	●								
				癌	テセントリク(アテゾリズマブ)	1200mg										
		Rp4		生理食塩液	50ml	15分	点滴静注メイン	●								
		Rp4		生理食塩液	250ml	60分	点滴静注メイン	●								
				癌	エトボシド	100mg/m ²										
		Rp6		生理食塩液	250ml	60分	点滴静注メイン	●								
				癌	カルボプラチン	AUC=5										
				投与順序	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール						
				Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用			●		●		
		Rp2		生理食塩液	100ml	15分	点滴静注メイン			●		●				
				デキササート(デキサメタゾン)	6.6mg					●						
		Rp3		生理食塩液	250ml	60分	点滴静注メイン			●		●				
				癌	エトボシド	100mg/m ²										
その他必要薬剤																
総投与時間	Day1(初回)3時間30分・(2回目以降忍容性良好の場合)3時間、Day2, 3:1時間15分															
血管外漏出リスク	テセントリク(アテゾリズマブ):不明 カルボプラチン:炎症性抗がん剤 エトボシド:炎症性抗がん剤															
投与時の注意事項	テセントリク(アテゾリズマブ)はフィルター付ルートで投与する ※1...テセントリク(アテゾリズマブ)の投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる															
備考欄	Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠															

◆投与開始の目安

1コース目 Day1	2コース目以降の day1
PS:0-2	PS:0-2
WBC ≥ 4000 / μL	WBC ≥ 4000 / μL
好中球 ≥ 2000 / μL	好中球 ≥ 2000 / μL
Hb ≥ 9.5 g/dl	
Plt ≥ 100000 / μL	Plt ≥ 100000 / μL
AST ≤ 95	AST ≤ 95
ALT ≤ 110	ALT ≤ 110
感染を伴う 38℃以上の発熱がない	感染を伴う 38℃以上の発熱がない

◆化学療法の休止もしくは投与量変更の目安

血小板数、白血球数及び好中球数の最低値	CBDCA	エトボシド
WBC < 1000 / μL	変更なし	20mg/m ² ずつ減量
Plt < 20000 / μL	変更なし	20mg/m ² ずつ減量
好中球数 < 1000 / μL + 38℃以上の発熱	変更なし	20mg/m ² ずつ減量
血清クレアチニンが正常値の1.5倍以上(2.1mg/dl以上)	AUC4(or4.5)へ減量	変更なし